

2019年度決算概要と経営戦略

(2020.7)

株式会社 KVK

CODE 6484

問い合わせ先: 経営管理本部長 小関智晶

TEL: 0574-55-0006

e-mail: info@kvk.co.jp

URL : <http://www.kvk.co.jp/>



〔注意事項〕

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。
経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。

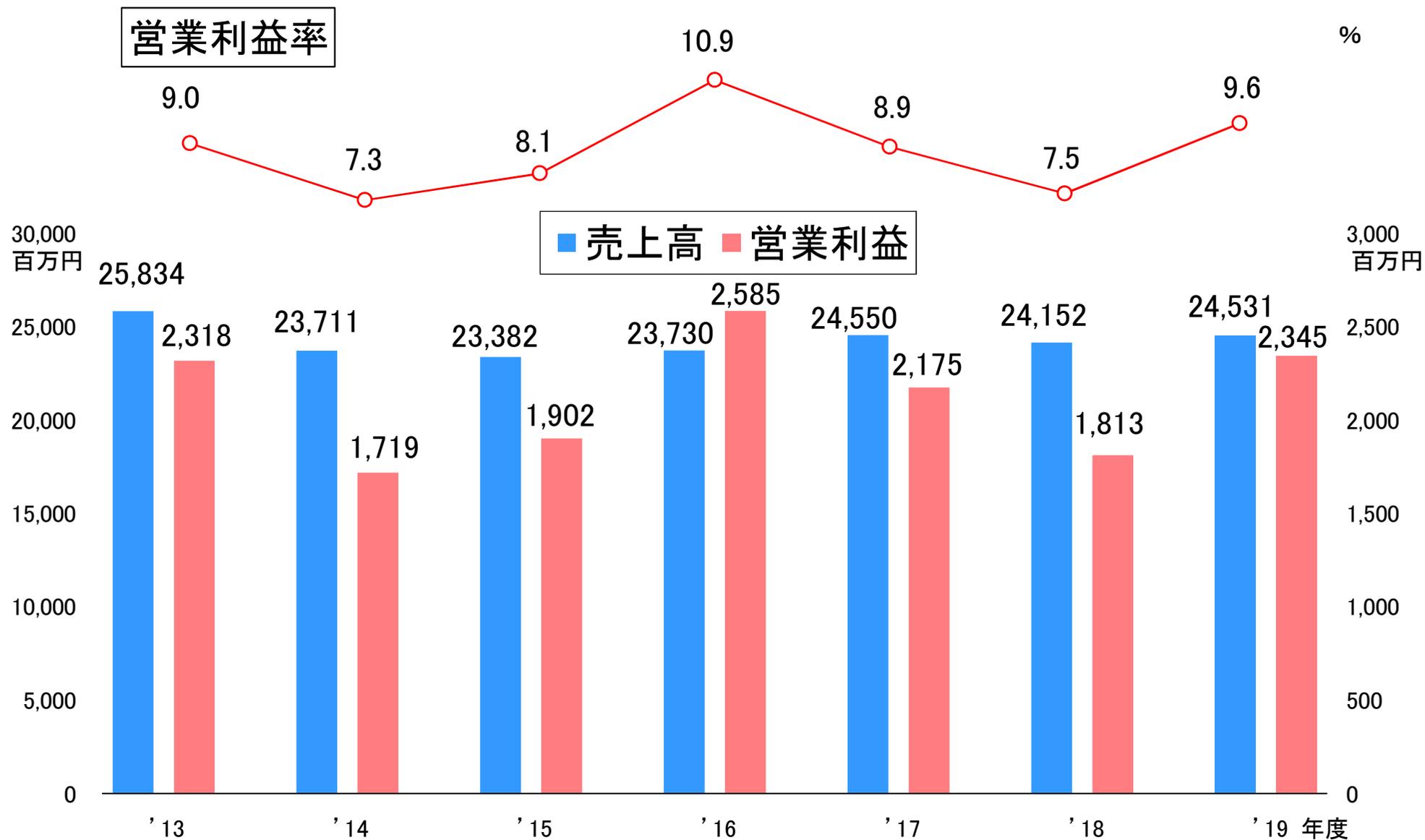
1. 2019年度通期業績
2. 今後の経営戦略

決算ハイライト (通期)



【連結】 (単位:百万円)	2018年度		2019年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	24,152	100.0%	24,531	100.0%	378	1.6%
営業利益	1,813	7.5%	2,345	9.6%	532	29.3%
経常利益	1,928	8.0%	2,523	10.3%	595	30.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	924	3.8%	1,701	6.9%	776	84.0%
EPS	113.06	-	210.69	-	-	-
【単独】 (単位:百万円)	2018年度		2019年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	24,501	100.0%	24,759	100.0%	258	1.1%
営業利益	1,500	6.1%	1,927	7.8%	427	28.5%
経常利益	1,957	8.0%	2,289	9.2%	332	17.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,027	4.2%	1,618	6.5%	590	57.5%
EPS	125.59	-	200.41	-	-	-

業績推移 (連結)



※2015年度より表示方法変更に伴い2014年度について遡及修正

※2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難なことから現時点では未定

品目別売上高構成比(連結)

KVK

品目別売上高構成比

その他

4,354百万円 17.7%
(4,518百万円 18.7%)



単独水栓

2,762百万円 11.3%
(2,839百万円 11.8%)



当期

前期

当期 245億円
(前期 241億円)

() 前期実績



シャワー付湯水混合水栓
11,502百万円 46.9%
(10,880百万円 45.0%)



湯水混合水栓
5,912百万円 24.1%
(5,913百万円 24.5%)

原価率・販管費率 (連結)



百万円
30,000

原価率

%
80

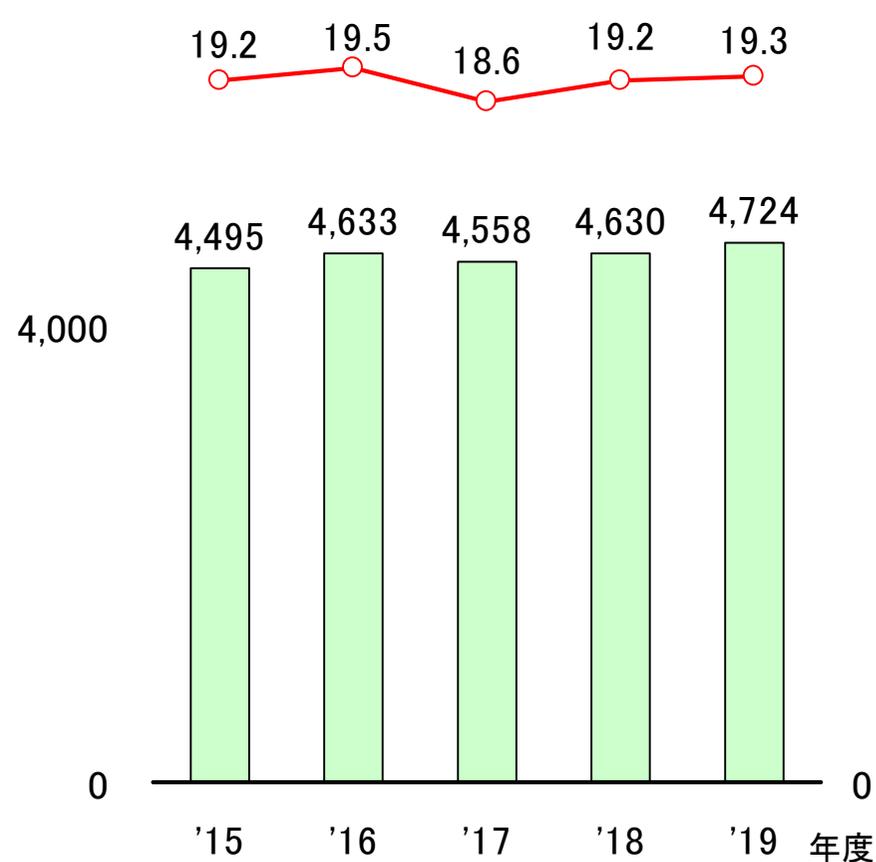
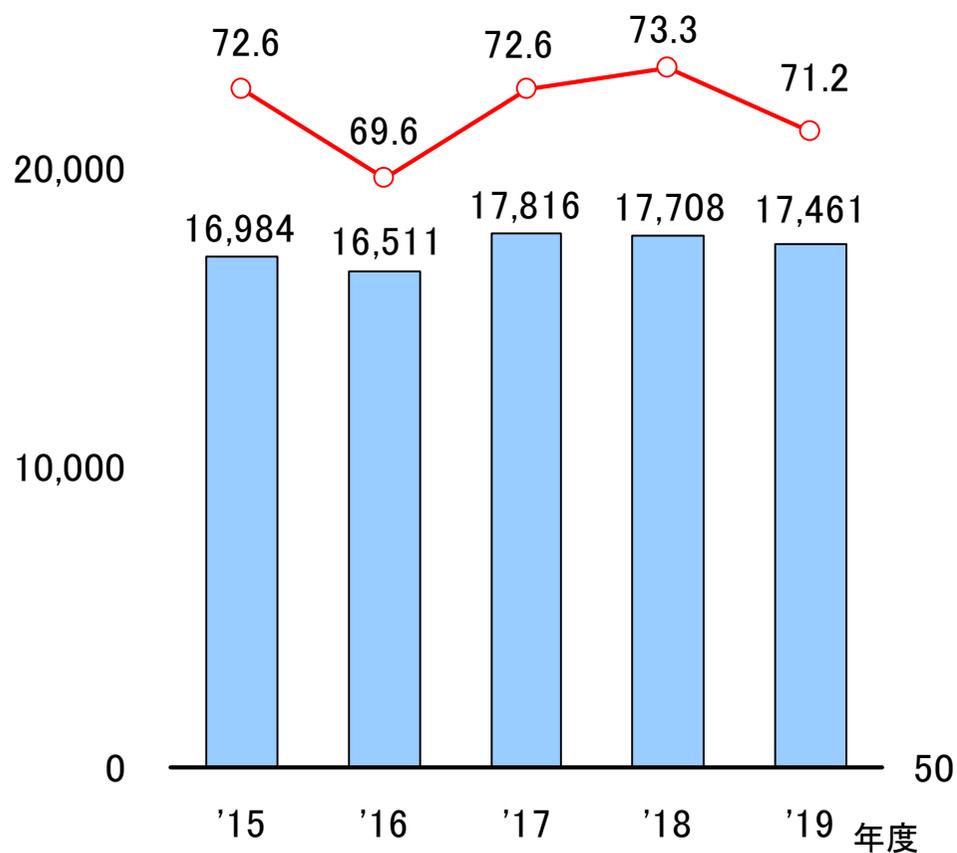
百万円
8,000

販管費率

%
25

■ 売上原価 ○ 売上高比率

■ 販管費 ○ 売上高比率



貸借対照表 (連結)



資産の部 +1,614百万円

流動資産は、前期末に比べ1,336百万円増加し、16,447百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,720百万円増加によるものです。

固定資産は、前期末に比べ278百万円増加し、10,823百万円となりました。これは主に、土地が267百万円増加したことによるものです。

純資産の部 +1,025百万円

純資産は、前期末に比べ1,025百万円増加し、19,665百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の発生により利益剰余金が1,292百万円増加したことによるものです。

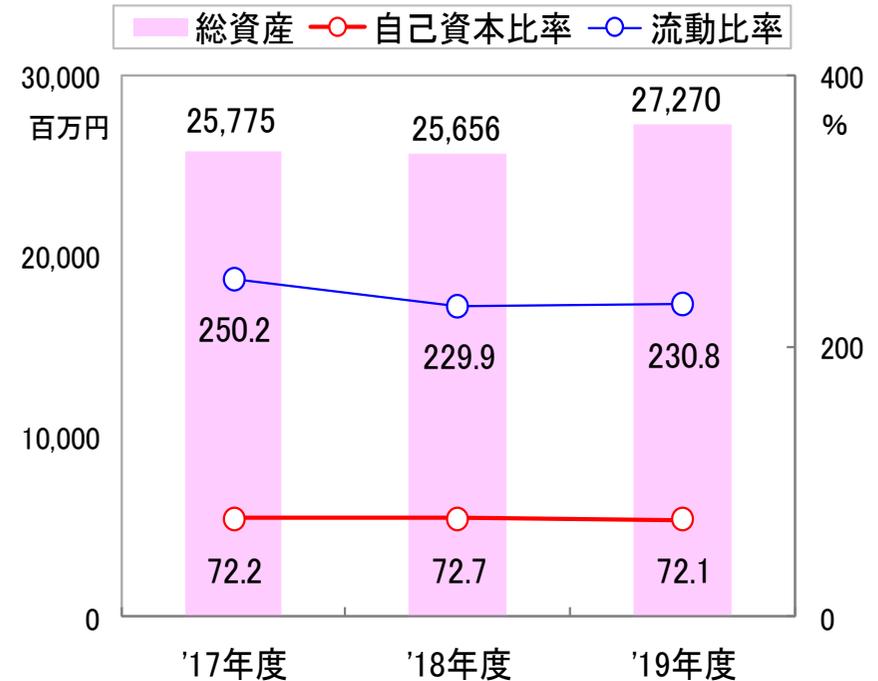
自己資本比率は前期末に比べ0.5ポイント減少し72.1%となり、1株当たり純資産額は2,434円7銭となりました。

負債の部 +588百万円

流動負債は、前期末に比べ552百万円増加し、7,126百万円となりました。これは主に、未払法人税等が439百万円、未払消費税等が309百万円増加したことによるものです。この結果、流動比率は前期末に比べ0.9ポイント増加し、230.8%となりました。

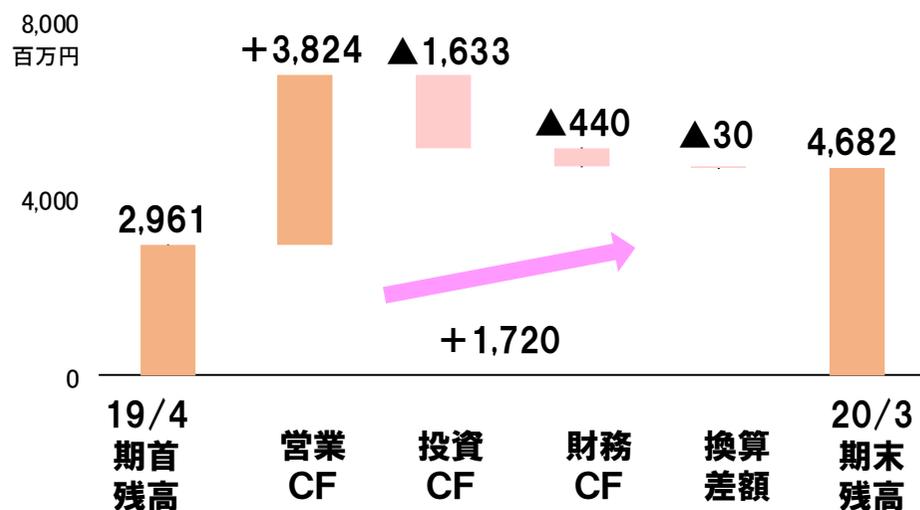
資産の部 25,656 ↓ 27,270	負債の部 7,016 ↓ 7,605
資産の部 25,656 ↓ 27,270	純資産の部 18,639 ↓ 19,665

※単位: 百万円 前期末との比較



※'18年度より繰延税金資産および繰延税金負債の表示方法変更に伴い'17年度について遡及修正

キャッシュ・フロー（連結）



(単位:百万円)

科目	'19/3	'20/3	増減額
税金等調整前当期純利益	1,358	2,465	1,107
減価償却費	818	846	28
減損損失	294	58	▲236
法人税等支払	▲765	▲294	470
運転資本	▲22	463	486
その他	4	285	280
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,687	3,824	2,137
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,319	▲1,633	685
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲833	▲440	393
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲11	▲30	▲19
現金及び現金同等物の増減額	▲1,477	1,720	3,197
現金及び現金同等物の期首残高	4,417	2,961	▲1,455
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	21	0	▲21
現金及び現金同等物の期末残高	2,961	4,682	1,720

※運転資本=売上債権の増減額+たな卸資産の増減額+仕入債務の増減額

営業活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、2,137百万円収入が増加し、3,824百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益、減価償却費、仕入債務の増加額等によるものです。

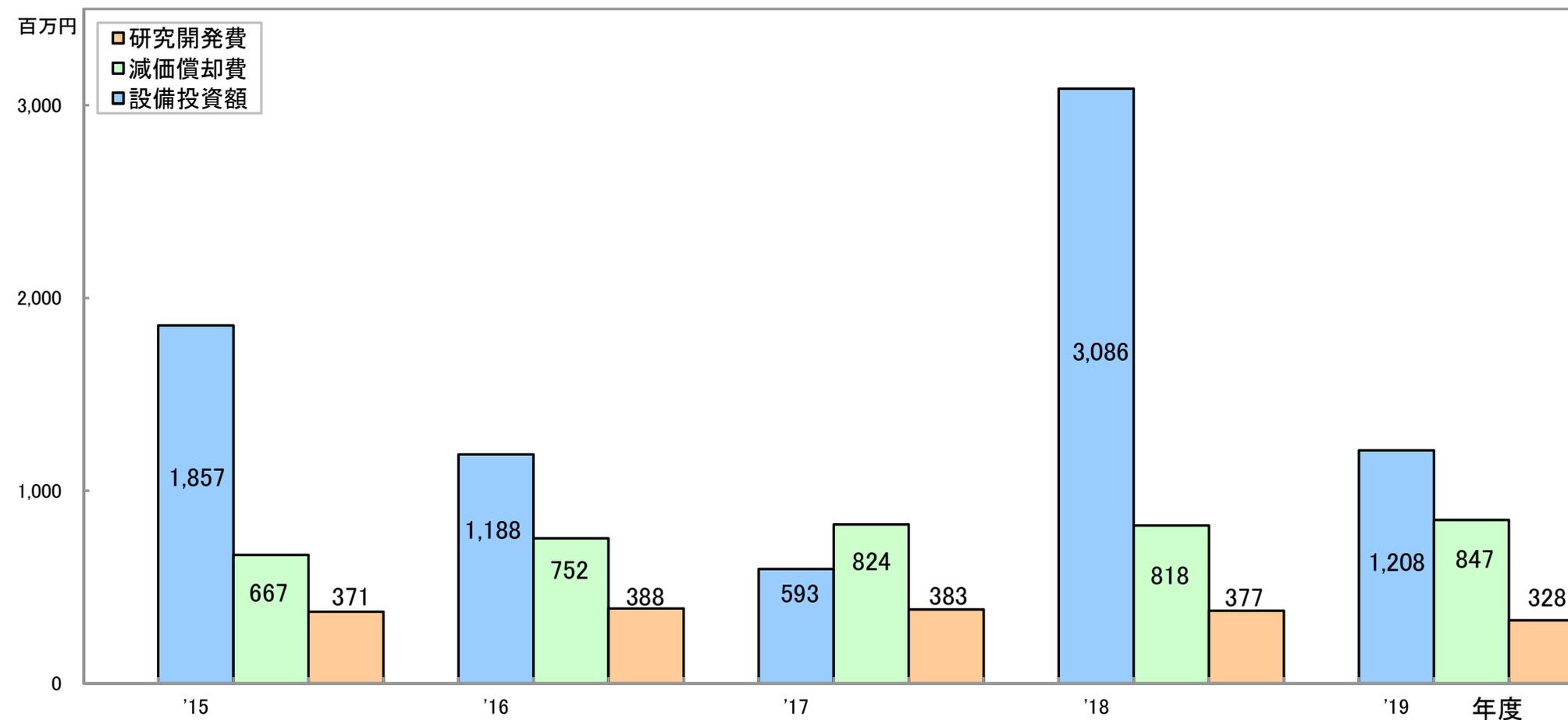
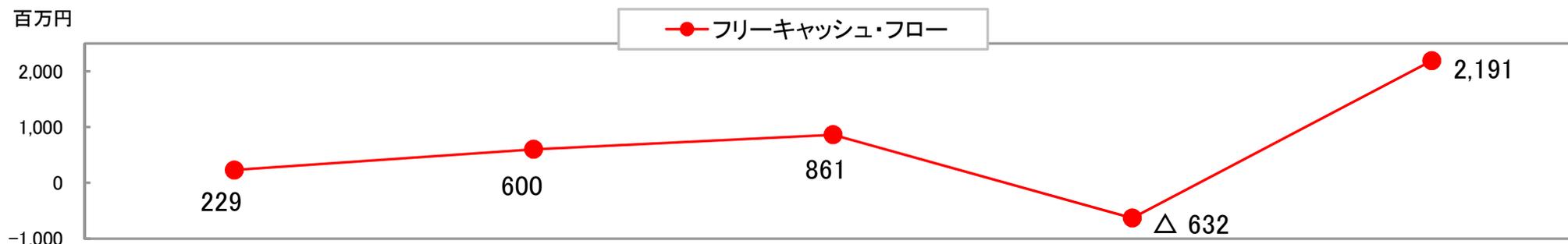
投資活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、685百万円支出が減少し、1,633百万円の支出となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

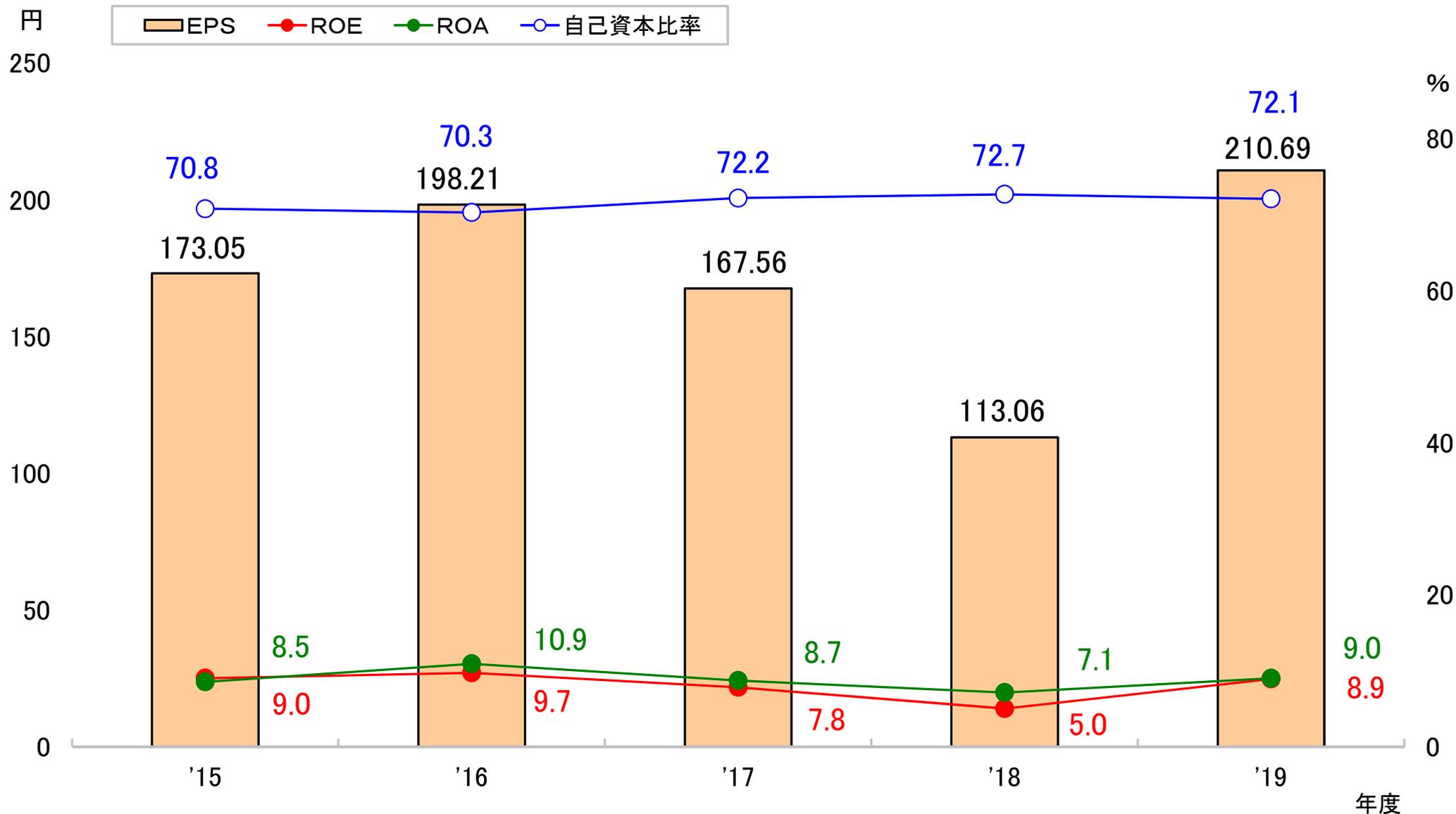
前期に比べ、393百万円支出が減少し、440百万円の支出となりました。この結果、当期末の現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ1,720百万円増加し、4,682百万円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費（連結）



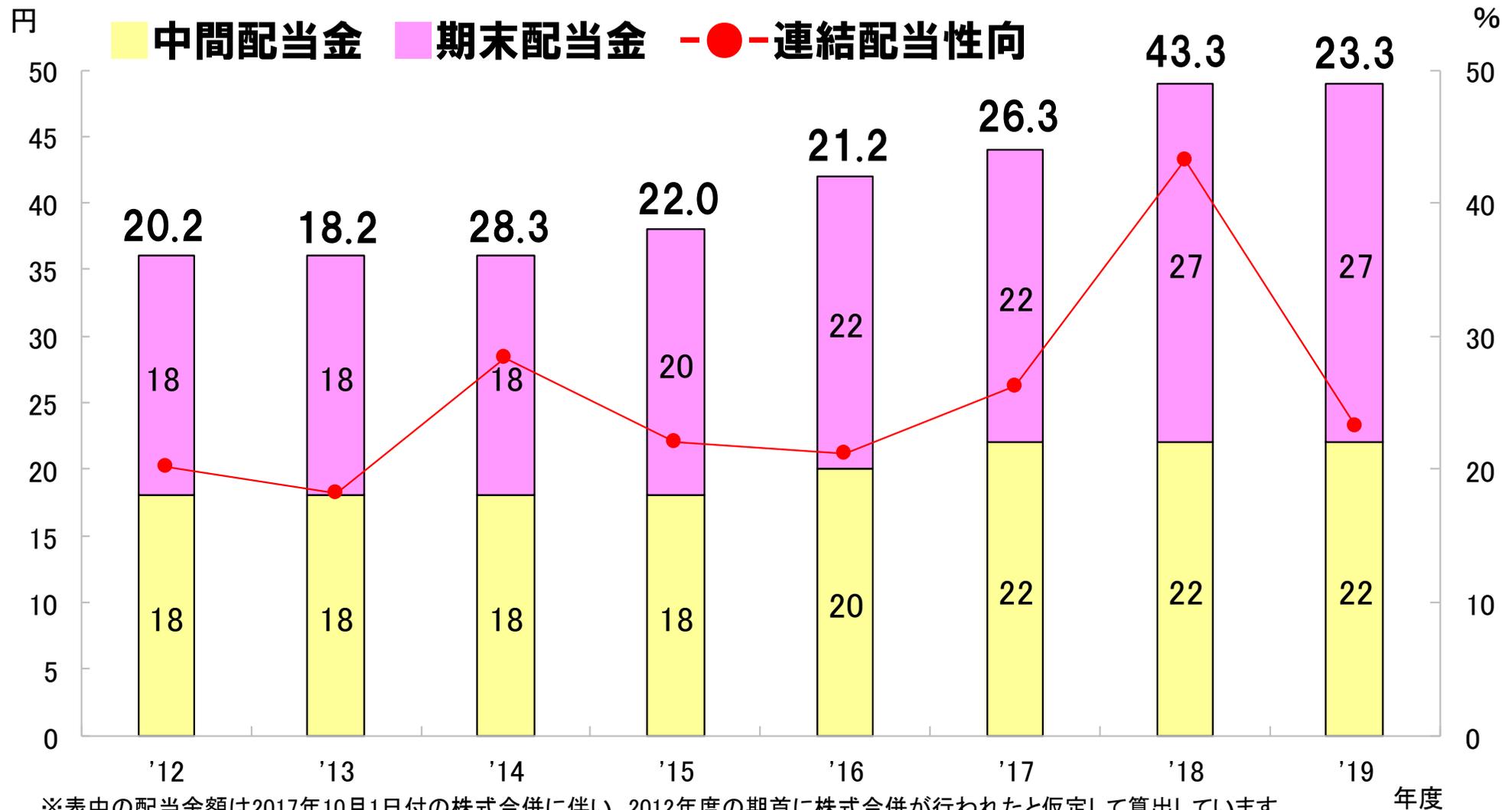
主要経営指標（連結）

KVK



※EPSは、2017年10月1日付の株式合併に伴い、2015年度期首に株式合併が行われたと仮定して算出しています。

1株当たり配当金



※表中の配当金額は2017年10月1日付の株式合併に伴い、2012年度の期首に株式合併が行われたと仮定して算出しています

※次期の配当金につきましては、現時点で合理的に見積もることが困難であるため未定としています

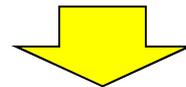
配当利回り(配当/株価)	4.2	2.8	2.8	3.1	3.5	2.7	3.2	3.1 %
株価	424	638	636	610	596	1,615	1,525	1,556 円

※株価: 日々の終値の平均。配当性向: 配当/1株当たり純利益

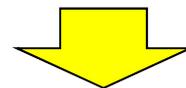
1. 2019年度通期業績
2. 今後の経営戦略

KVKグループを取り巻く事業環境

- 為替・材料価格・受注の変動
- 少子・高齢化→世帯数減少→新設住宅減少→他社との競争激化
- 量から質への住宅政策の転換
(住生活基本計画によるリフォーム需要後押し)
 - … リノベーションの時代到来
 - … 自然災害による住宅価値観の変化(省エネ・防災・耐震性など)
- 安全安心、健康、心地よさ、環境共生への関心の高まり



消費構造の変化、ニーズ・価値観の多様化で
新しい需要が創出され大きなチャンス



- お客様の新生活スタイルを提案する市場創造型の
商品・サービスづくり
- 変種・減量に対応できるモノづくり

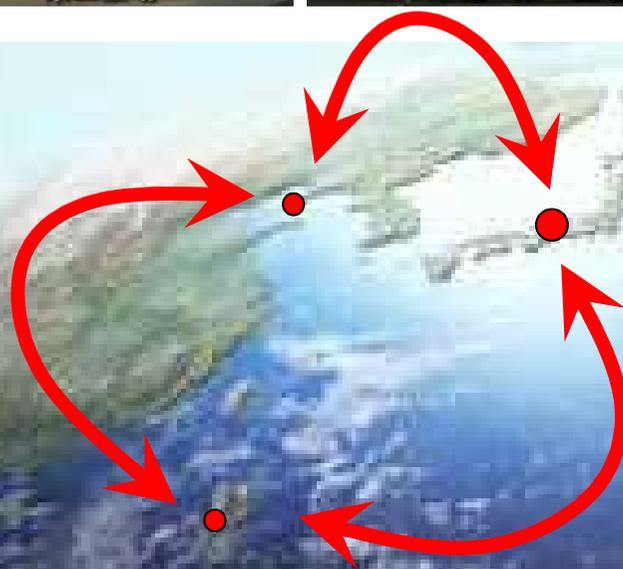
付加価値の高い商品販売



消費構造の変化、ニーズ・価値観の多様化で
新しい需要が創出

3拠点による最適生産体制の構築

中国・アジア市場の顧客基盤拡充
グローバルな最適地調達・最適地生産の構築



市場創造型の差別化商品づくり

～安全・安心、品質、コスト、省エネ・環境、心地よさ・デザイン～



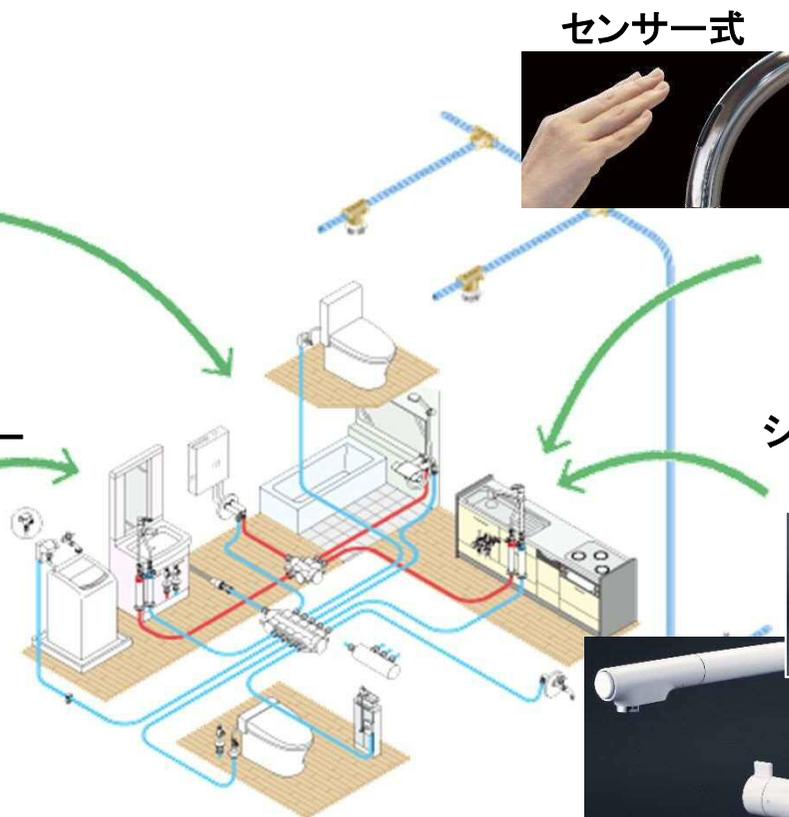
KF3120
オーバーヘッドシャワー付サーモ



FTB100KMFT
サーモスタット式シャワー



FSL150DET
シングルレバー式混合栓



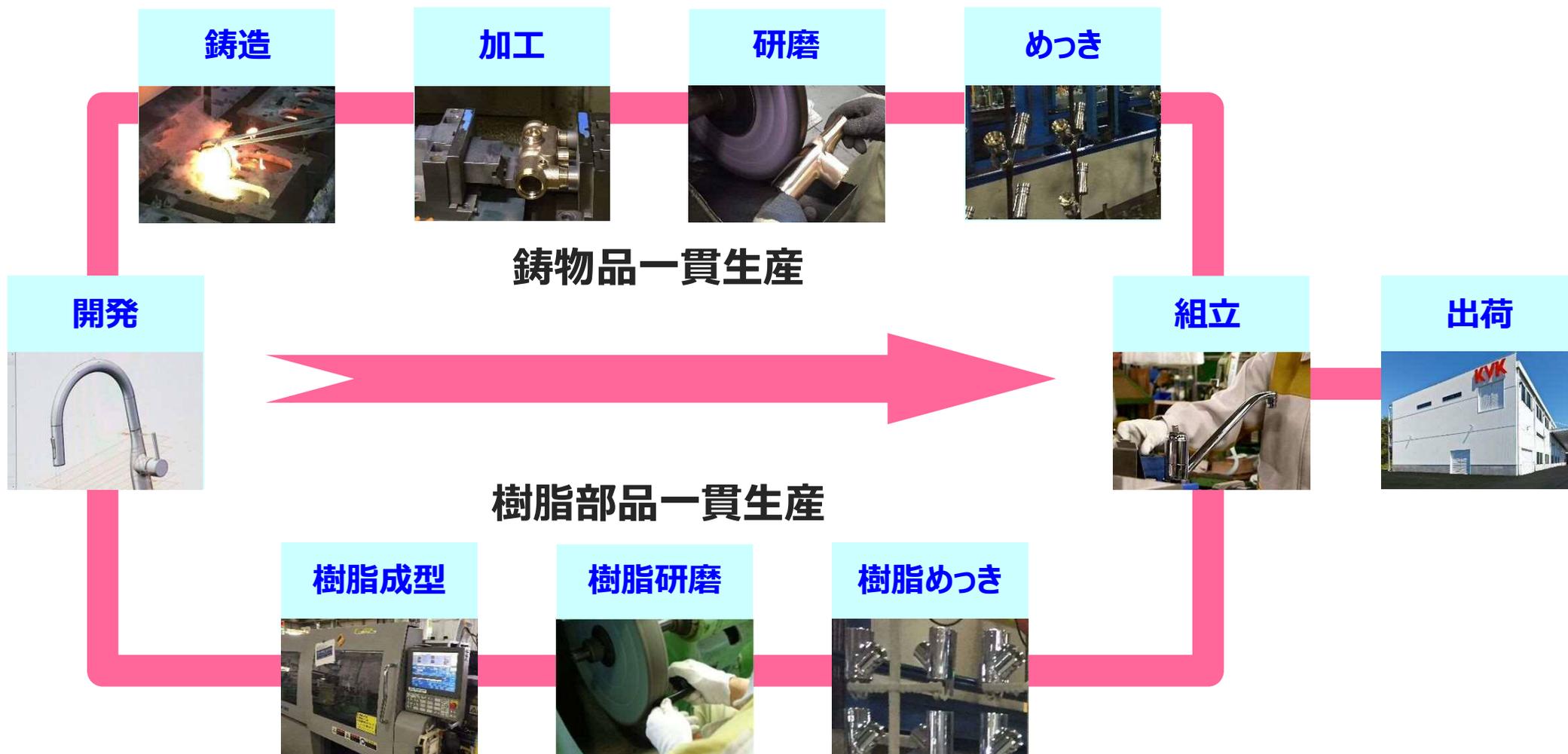
センサー式
KM6071ECM4 KM6071ECM5
シングルレバー式シャワー付混合栓



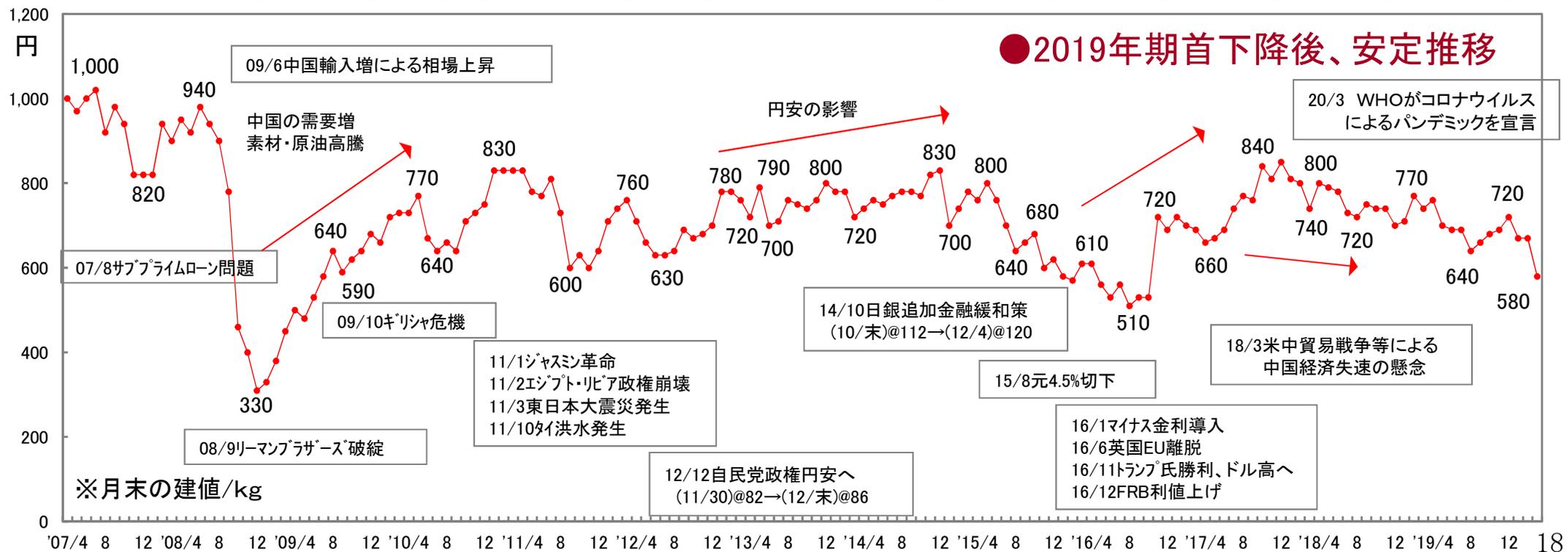
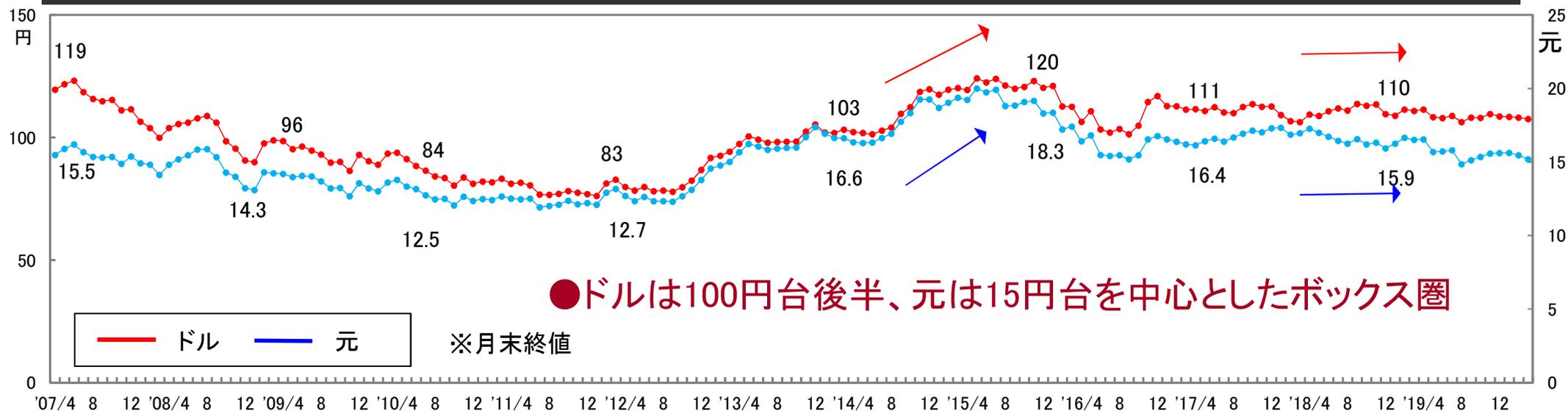
KM6121SCECM4 KM6121SCECM5
浄水器付シングルレバー式シャワー付混合栓



本社工場一貫生産体制 + 工場直出荷



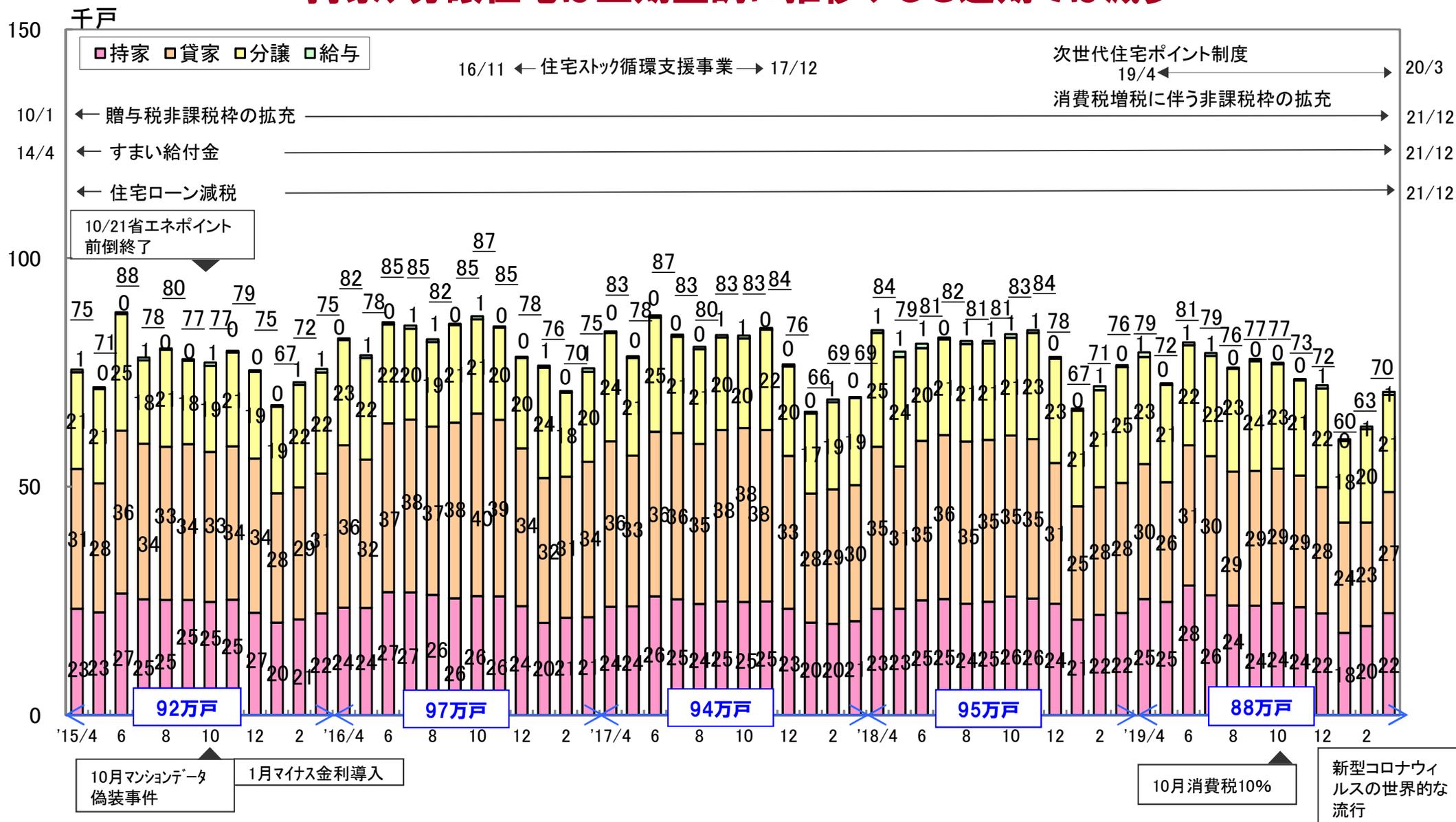
(市況) 為替・銅価格



(市況) 月別新設住宅市場



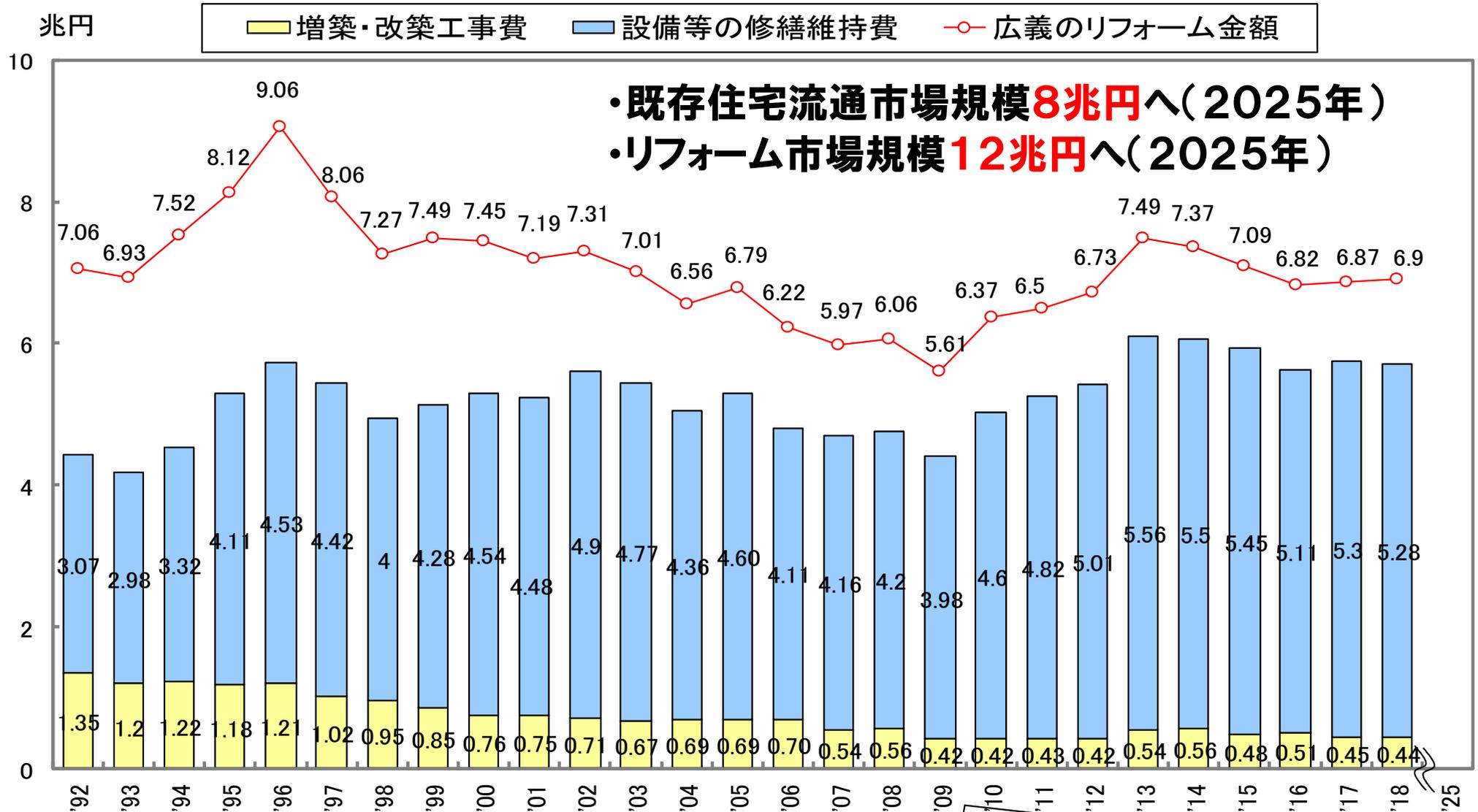
持家、分譲住宅は上期堅調に推移するも通期では減少



※資料：国土交通省

(市況) リフォーム市場

新住生活基本計画



※資料:国土交通省、(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター

リーマンショックに伴う消費低迷の影響

KVK



**お客様とともに
“快適な水まわり”を創造する。**